

それぞれ参加したグループで話された内容で、出てきた具体案をまとめてください

R4. 11. 17:新しい学校教育部

ホワイトボード	主な内容・実現に向けた具体案
	<p>クラブについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 西大和に元気な高齢者の方はいるが、何ができるかどうかは把握していないため、協働本部や、学校運営協議会の力を借りながらつながっていけたらいいのではないかと話になった。そのため具体的にクラブの活動などは出せていない。 <p>不登校の児童の居場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> わびあのほうで、不登校の児童の居場所になるような場を作ろうと今プロジェクトを計画していただいている。 <p>みどり学級へのボランティア</p> <ul style="list-style-type: none"> みどり学級でボランティアがいるとありがたいという話が出たが、児童の特性もあるため、週に1回など固定できていただける方がいれば…という話になった。
	<p>クラブについて</p> <ul style="list-style-type: none"> そもそも学校のクラブにどんなものがあるか地域・家庭に共有がされていないため、一度周知が必要。 地域の方々の実態に合わせたクラブも良いかも。ただ、広沢は引っ越しが多いので、引く継ぐ難しさを考えると、専門の方でなくても、一緒に楽しむベースで行う方がよい。 <p>生活・総合について</p> <ul style="list-style-type: none"> 例えば、和光市を盛り上げるために、町のPR・お店のPRや宣伝など行う。(お店に関しては、2年生の町探検との関連)(福祉会館→パン作りなど行っているの、新しい商品作り? やすまいるカフェなど福祉と関連しながら、町のPRなど。) <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭科のミシンの手伝い・調理の手伝い、読み聞かせなど身近なボランティアを集う。(子どもたちが喜ぶ笑顔が共有できればWinWinの関係)
	<p>連携のプラットフォームとなる教育バンク</p> <ul style="list-style-type: none"> 広沢小学校独自の人や物が登録されている教育バンクの設立(子どもの教育に役立つことができる機材や道具、授業で役立つ技術や経験、資格等) 委員会の活動を地域化するために、総合的な学習の時間とコラボ(高学年同時間 総合&委員会) 総合学習に合わせた委員会活動の見直し(例えば、現在の7委員会をテーマごとに4つに再編、担当は高学年担任4人、総合的な学習の時間は週2回で月に8回とれるので、1/4位を当てることで、委員会活動の時間を取らずに運営も可能&縦割り課題解決学習) <p>学校や地域の健康増進: 保健&運動 委員会 学校や地域の環境緑化: 飼育&園芸 委員会 学校や地域の広報活動: 放送&運営 委員会 学校や地域の文化教養: 図書&給食 委員会</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 学校win:URさんの畑をクラブ等で活用⇔URさんのwin:荒れた土地のままだと見栄えが悪い&手入れが大変 学校win:レーマンの工場で社会科見学ができる⇔地域発展&企業PR活動をしてもらう 学校win:防災についての学びの場を確保(総合等の授業で活用を図る)⇔URさんのwin:防災ワークショップの運営を児童に行ってもらい、人手不足解消&西大和団地の活性化 学校win:総合(6年向け)の探求活動の場と機会を確保できる⇔URさんのwin:西大和団地の公民館を使ってほしい&西大和団地と官舎をつなぐ架け橋となるのが狙い 学校win:学校前の銀杏を提供する。⇔地域住民win:こっそり拾いに行かずに堂々と頂ける 学校win:落ち葉掃きなど環境整備をしてもらう&ミシンを教えてもらう⇔西大和団地のお年寄りwin:資源をゴミ捨て場に運んでもらったり、電球を交換してもらったりしてもらえる(地域人材バンクの活用) 学校win:朝、登校していない児童宅へのお迎え&様子伺い⇔西大和団地のお年寄り&URさんのwin:西大和団地の活性化 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内祭りやシティマラソンの運営 和光市音頭を作り、普及させる 理研から学ぶ広沢サイエンス などなど盛りだくさん

